

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2024年8月30日
第31号

小樽再発見⑬

商大生が関く嶋谷カフェ

SNSで人気、地域活性化に貢献

嶋谷カフェは昨年、小樽商科大学の多田ゼミの学生が小樽市の指定歴史的建造物である「旧嶋谷倉庫」をリノベーションして開業したカフェで観光客に人気のスポットだ。取締役（ゼミ代表）の佐々木大晴さん（大学4年）に話を聞いた。

歴史的建造物を生かす

旧嶋谷倉庫は似鳥ステンドグラス美術館の隣にあり、木骨石造倉庫で120年の歴史を刻む。外観の石造が目を引くが、中に入ると太い木の柱の温かみを感じられる。壁は大学生が白く塗り、リノベーションした。落ち着いた雰囲気合うようにテーブルや椅子の選定にもこだわりが感じられる。観光客の休憩所として利用し



佐々木大晴さん（取締役、大学4年）



小樽市色内1丁目2番18号、11:57時、木曜定休日

てもらえるように、ドリンクやソフトクリームをメインに提供している。ターゲットは20代女性で、HPやSNSを通じて情報発信している。多田ゼミで運営は多田ゼミの18名の学生が中心となっており、1日2名体制でアルバイト料を払っている。組織としては4つの部



1番人気
嶋谷硝子ソフト

署に分かれており、①店舗・運営（内装・カウンター整備・ポップ制作）②企画・開発（商品開発）③広報（渉外・メディア・SNS）④財務（売り上げ・領収書・給料）となっている。

学びを生かして運営

■カフェ運営のやりがいはいは？
大学で学んだことを生かし、実践できることです。直接、経済に関わっている実感がありません。また、「夜カフェ」など自分の企画でお客様に満足してもらえたときはうれしかったです。

大人と積極的に関わる

■起業するに当たっての心構えを教えてください。
カフェ運営で大人と話す機会がありました。皆さん、フレンドリーに接してくれ、自分たちに興味を持ってくれます。なので大人を必要以上に怖がらずに話すのが大切だと思います。以前私は学校の先生が苦手です。話すことはなかったのですが、今ではもっと話しておけばよかったと思います。

多田侖先生は他の大学に異動され、現在ゼミはオンラインで行われている。ゼミは今期で終了となるが、今後、カフェの運営をどうするか、検討が必要だ。サークル化、他のゼミへの移行などが考えられる。経営が軌道に乗っているだけに注目される。

高文連

書道部 特選3名、秀作1名 4名が全道へ

8月22日、23日、俱知安町文化福祉センターで第58回高文連後志支部書道展・研究大会が開催され、扇谷姫来さん（3-2）、岩城江莉子さん（3-1）、渡辺彩乃さん（3-4）が特選に、新見わかかなさん（3-2）が秀作に選ばれ、全道大会（小樽）への出場権を得た。

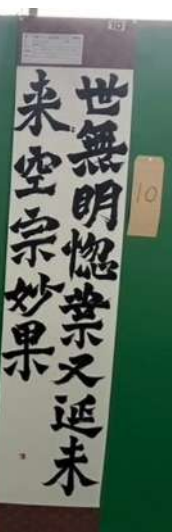
古典の特徴を捉えて

「除曠」扇谷 姫来
扇谷さんは小2から習字を習っているが、古典の臨書は高校からほぼ独学で書いている。今回は目に入りやすい四隅の文字に特に力を入れた。縦の軸を真っ直ぐにする、余白を意識するこ

とを心がけ、力強い作品が出来上がった。

繊細な筆遣い、バランス良く

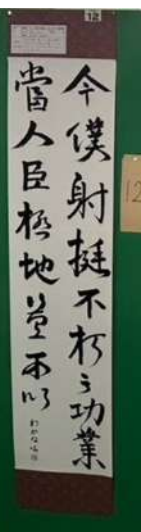
「王羲之 蘭亭序」岩城江莉子
岩城さんは王羲之の古典を繊細な筆遣いでバランス良く書いた。40枚ほど練習したという。



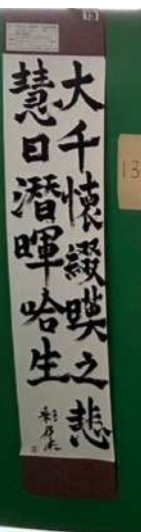
「除曠」扇谷 姫来
古典の特徴捉え「顔真卿 争坐位帖」新見わかかな



「王羲之 蘭亭序」岩城江莉子
古典の字体的独特の力強い字体をバランス良く堂々と書けたと振り返る。伸びやかでリズムが感じられる作品に仕上がった。



「顔真卿 争坐位帖」新見わかかな



「造像題記」渡辺彩乃